12

なりました。おさしづに『話 おたすけを願いにくるよう ずにはおれないのであります。 ないでしょうか?しかし、 子供には食べさせてやりたい 正直、 るだろうか、と思いまし さった教祖とご家族一同様に 様と共に辛酸の道をお通り下 ならなくてもよい苦難の道中 あります。本来ならばお通り らしへの道が開けることを、 切ることによって、 ります。その大きな御用の上 祖の御心は、 と思います。これも親心では お子様たちに伝えられたので さが生まれ、自ずから陽気ぐ を捨て、一家揃って貧に落ち 台とする為に、 広大な親神様の親心であ らためて心から御礼をせ 後世で道を歩く我々の話 あえて物を施し、 自分は 世界だすけとい 食べなくとも、 あえてお子 心に明る

来た。 神様は『今は種々と心配する 様と中山家の問答の中で、 29年3月31日) と仰せられま こちらから出て来る』(明治 さあくあちらから出て来る。 ちらの枝を折りくべ、こちら にあたるものも無かった。 いが致します。 力に、事改めて平身低頭の思 思う日が来る程に』と諭され は無理でないけれど、二十年 す。又、天保9年10月、 て通りて、 を楽しませく、 き見通されている親神様の御 ておりますが、先々まで見抜 三十年経ったなれば、 の葉を取り寄せ、 神の話に嘘は有ろまい。 三十年来寒ぶい晩 長い道中連 通り越して 成程と 親神 親

長をはじめ、

を親として、

れました。

こそ、

る時も、

が晴れる、

であってほしいと思います。」

うのであります。

か うとする者の成人の努力が欠 けるように、 心がける信仰姿勢について、 を育てるためにはまず育てよ る受け身の存在ではなく、 ていかなければならない』又 には心があり、 して素直に、 お互い、 せません』、とご教示下さ 真柱様は、 の育成については、『人 頭にもお話いたしました 親神様に働いて頂 しっかりと、そ 教えを心に治め 単に育てられ 現在私たちが

もこの頃の事であります。

そ

、この

後、

おびや許しと

お礼参りに来る人ができたの

て四合のお米をもって、

人だすけをされるうちに

ご不自由な生活をされなが

た。

同時に、

ている教会は、

ツン!と叩かれる気がしまし

私は、このお言葉に頭をガ

いう安産のさづけをきっかけ

人々は次々とお屋敷

るには、

会長自身

続きには、

「何

うに出入りでき、いずんでい 和やかな雰囲気を湛えていて その実現を目指す教会は、会 団欒のような世の中ですが、 になる陽気ぐらしは、 手本ということができると思 八間が互いに兄弟として扶け 信者が一つ家族のような、 土地所の陽気ぐらしの 睦み合う、いわば家族 教会に来れば気持ち 安らぐといった場 お道の理想的な教 『親神様がお望み 次のように述べら その子供である 所属するよふぼ 我が家のよ 親神様 がるよふぼく、 のであります。」 、も大切ですが、

教会に住む者の心遣いが何よ 行きたくなるような教会にな るのだろうかと検証している ところであります。このお言 るような足だまりになってい 気持ちが晴れ晴れとす 現在お預かりし はたして安ら の自覚と、 かにつけ 指針として、 思います。 つとめていきたいと存じます。 祖のひながたを常に拠り所と 日がやってきます。その日 か次代に信仰のバトンを繋ぐ 日は、まだまだ先のことだと ながら、 陽気ぐらし世界建設実現 ぢば一条に心を繋ぎ、 真柱様のお言葉を そして、 一手一つの心で いつの

いました。

そして、

教会があると思います。感染 さるものと信じます。 どんな荒波の中でもお導き下 お働き下さいます。 お受け取り下さり、ご存命で は、運んだ分だけその真心を にお参拝することで、親神様 がら、家族単位で身近な教会 対策をしながら、密を避けな いわずとも、ご自宅周辺には しかしながら、所属の教会と なくしている現状であります。 を縮小、もしくは中止を余儀 り、全ての祭事や行事は規模 はコロナ禍という非常時であ ております。もちろん、只今 ように勤めて頂きたいと思う 教会へできるだけ足を運 親神様・教祖に心を繋ぐ 。』と述べられ 又教会に 教祖 が

でお菓子を拾った。

節

分

行

事

方がお菓子を撒き、 して今年は丑年、 子供もいたが、みんなで豆を 始まり、 のみで節分行事が開催された。 教会3階会議室にて、 ぶつけて鬼を追い払った。 イルスの感染拡大を鑑み 2月2日 大教会長司会のもと行事が 鬼の登場に泣き出す 年男年女の 凄い勢い コ 住込み ロナウ そ

みで参加者は少なかったが は賞品も渡された。 大会を行い、多く取った方に みんな一緒に津軽弁のカルタ んなで行事を楽しんだ。 続いて、子供から大人まで 住込みの

